

2020 四国女子サッカーリーグ参入決定戦 大会要項

1. 主 旨 四国内における女子サッカーの技術向上と、健全な心身の育成を図り広く女子サッカーの普及振興に寄与することを目的とする。
2. 主 催 (一社) 四国サッカー協会
3. 主 管 (一社) 愛媛県サッカー協会 (一社) 徳島県サッカー協会
4. 日 程 各県からのチャレンジ決定トーナメント推薦チーム数の合計によって決定される。

【参入チャレンジに4県から各1チーム出場(4チーム)の場合】

4チームによりトーナメント形式で行い、優勝チームが昇格

2位のチームが2019 四国リーグ5位チームと入替戦

*2019 四国リーグ6位チームは自動降格

日程 1回戦 2020/1/18 (土) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

決勝 2020/1/19 (日) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

入替戦 2020/2/9 (日) 徳島スポーツヴィレッジ (通称 T S V) (徳島県) 11 : 30

【参入チャレンジに4県から3チーム出場(1県出場なし)の場合】

3チームに2019 四国リーグ6位チームを含めてのトーナメント

*2019 四国リーグ5位チームは残留

組み合わせは、フリー抽選

※変則のトーナメントではない

同点の場合は、PK戦

優勝チームが、2020 四国リーグへ

日程 1回戦 2020/1/18 (土) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

1回戦 2020/1/19 (日) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

決勝 2020/2/9 (日) 徳島スポーツヴィレッジ (通称 T S V) (徳島県) 11 : 30

【参入チャレンジに4県から2チーム出場(2県出場なし)の場合】

2チームで1回戦を行い、勝利したチームが2019 四国リーグ6位チームと決勝戦を行う

日程 1回戦 2020/1/18 (土) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

決勝 2020/2/9 (日) 徳島スポーツヴィレッジ (通称 T S V) (徳島県) 11 : 30

【参入チャレンジに4県から1チーム出場(3県出場なし)の場合】

参入チャレンジ決定戦は行わず、2019 四国リーグ6位チームと入替戦を行う

*2019 四国リーグ5位チームは残留

日程 入替戦 2020/1/18 (土) 桜井海浜公園ふれあい広場サッカー場 (愛媛県)

【参入チャレンジに参加チームなしの場合】

2019 四国リーグ参加チーム残留

組合せ：チャレンジチーム決定トーナメントは、四国女子委員会において抽選を行い決定する。

代表者会議：行わない。

開会式：実施しない

5. 実施方法

2019 四国女子サッカーリーグ大会要項の「11. 次年度参加資格」と「12. 入替戦」に従って実施する。

参考 2019 四国女子サッカーリーグ大会要項より抜粋（誤解を減らすために訂正した部分はあり）

『 11. 次年度参加資格

2020 年度までしこチャレンジリーグへの参入戦に勝利したチームがある場合、または2020 年度四国女子 U15 サッカーリーグ（仮称）に出場するため本リーグを退会するチームがある場合、逆に上位リーグからの降格が決定したチームが次年度四国女子リーグに参加を希望する場合、2020 四国女子サッカーリーグのチーム数は6となるよう、2019 四国女子リーグの成績によって下位のチームの残留や自動降格や入替戦の勝敗によって調整する。つまり、2020 年度上位リーグからの降格チームや U15 リーグ参加のための退会チームを考慮して計算すると、次年度のリーグへの参加希望チーム数が6以上となる場合には、2019 四国女子サッカーリーグに参加したチームの中で、入替戦またはチャレンジ決定トーナメントに参加しなければならないチームがある。（参加しなければならないチームについては「12. 入替戦」を参照）

12. 入替戦

各県からチャレンジチーム決定トーナメントに参加する1チームを推薦する。

- i) 各県からチャレンジ決定トーナメントに推薦されたチームが、四国4県のすべての県からあるとき
つまり、各県から推薦されたチームが合計4チームのとき

2019 年度6位以下相当（上位リーグから降格したチームがあればそのチームを1位相当チームとして考え、以下は2位のように計算）は自動降格、5位相当チームは四国リーグチャレンジチーム決定トーナメントの準優勝チームと入替戦を行い、引き分け以上なら残留、敗戦した場合には降格となる。

チャレンジチーム決定トーナメントに優勝したチームと、入替戦の結果により残留または昇格が決定したチームが、次年度の四国女子リーグに出場する義務を有する。

- ii) チャレンジ決定トーナメントに推薦するチームが、四国4県のすべての県からではなかったとき
つまり、各県から推薦されたチームが合計3チーム以下のとき（4チームではない場合）

2019 年度7位以下相当チームは自動降格とする。6位相当チームは2020 四国女子サッカーリーグチャレンジチーム決定トーナメントから参加し、優勝した場合のみ残留、敗戦した場合には降格（引き分けの場合にはPK方式）。5位相当チームは残留となる。この場合、入替戦は行われぬ。』

チャレンジチーム決定トーナメントに優勝したチームは次年度の四国女子リーグに出場する義務を有する。

6. 参加資格
- (1) 各県により決定された代表チームで（公財）日本サッカー協会に「女子」の種別で登録した加盟登録チームであること。
 - (2) 中学生（2007年4月1日以前に生まれたもの）以上の女子選手であること。
 - (3) （公財）日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一クラブ内の別チームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく本

リーグに参加させることができる。

(4) 外国籍選手：5名まで登録でき、1試合3名まで出場できる。

(5) 移籍選手：本大会および、参入決定戦を通じ、選手は他のチームで参加していないこと。

7. 参加料 30,000円

8. 大会形式 ノックアウト方式（チャレンジチーム決定戦では1位から2位までを決定する。）

9. 競技規則 大会実施年度（公財）日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
2019年度の競技規則改正に従う（新ルールの適用）

10. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技者の数

- ① 競技者の数：11名
- ② 交代要員の数：7名以内
- ③ 交代を行うことができる数：5名以内
- ④ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：3名以内

(2) 役員の数

テクニカルエリアに入ることができる役員の数：6名以内

(3) テクニカルエリア

設置する

(4) 競技者の用具

①ユニフォーム

- a. 本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、2017年4月1日施行の規程で追加・変更となった内容のうち、以下は2020年3月31日まで旧規程による運用を許容する。

第5条[ユニフォームへの表示]※該当のみ抜粋

- ・ GK グローブ・キャップへのチーム識別標章・選手番号・選手名の表示
 - ・ 両肩・両脇・両袖口・両腰脇・両裾に表示できる製造メーカーロゴマークの幅（10cmから8cmに変更）
 - ・ 同一の製造メーカーロゴを帯状に配置する場合のロゴマーク間の距離
- b. Jクラブ傘下のチームについては、公益財団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。また、日本女子サッカーリーグ傘下のチームについては、一般社団法人日本女子サッカーリーグのユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様が異なる場合は認められない。この際、シャツの色彩が審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得ない場合、審判員用のカラーシャツを複数色、チームで準備出来る場合のみ使用を認められる。
 - c. ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）については、正の他に副として、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行すること（FP・GK用共）。本協会に登録されたものを原則とする。

- d. シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
- e. ユニフォームの色、選手番号の参加申込締切日以後の変更は認めない。
- f. ユニフォームへの広告表示については本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認された場合のみこれを認める。
- g. ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。

(5) 試合時間

①試合時間

【チャレンジチーム決定トーナメント】

80分（前後半各40分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則10分

【入替戦】（行われる場合）

80分（前後半40分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則10分

②試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

【チャレンジチーム決定トーナメント】

決勝：PK方式

準決勝：PK方式

3位決定戦：行わない。

PK方式に入る前のインターバル：1分間

【入替戦】（行われた場合）

延長戦やPK方式は行わない。引き分けの場合には2019四国女子リーグ5位のチームの残留とする。

③アディショナルタイムの表示：行う

(6) マッチコーディネーションミーティング

各試合競技開始時間の70分前に実施する。

(7) その他

①第4の審判員の任命：行う

②負傷者の対応：主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可される。

③飲水タイム：主審の判断により状況によっては実施する。

11. 懲罰

(1) 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。

(2) 大会規律委員会の委員長は四国女子委員長とし、委員については委員長が決定する。

(3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。

(4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず（参入決定戦を含む）、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。

(5) 本実施要項に記載事項にない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。

12. 大会参加申込

(1) 1チームあたり参加申込書に登録し得る選手数は、定めない。参加申込した選手の中から、各試合メンバー用紙提出時に選手最大18名を選出する。(ポジションについては、GK、DF、MF、FWと記入すること。)

(2) 参加申込は所定のエントリー表1部と個人情報保護同意書1部を、期日までに下記申込場所宛に送付すること。

申込先：〒790-0914 愛媛県松山市三町3丁目12-13

(一社) 愛媛県サッカー協会「四国女子サッカーリーグ参入決定戦」係

(3) 申込締切：2020年1月9日(木)

※各県からの推薦チームが4チームの場合には2019四国リーグ5位のチーム

(推薦チームが3チーム以下の場合には2019四国リーグ6位のチーム)

も期日までに申込を済ませること。

(4) 参加申込締切日以降、選手の変更は原則認めない。

13. その他 (1) 登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。

ただし、写真貼付により、顔が認識できるものであること。

※選手証とは、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。紛失や破損のリスクがあることと、確認をより正確に行うため、スマートフォンやPC等の画面に表示した確認方法はなるべく利用しないこととする。

(2) 試合会場では役員・係員の指示に従いサッカー選手・関係者としてのマナー向上を心がける。大会規定に違反し、その他不都合な行為があった時は、そのチームの出場を停止する。

(3) 落雷等、自然災害の発生時においては、大会本部の判断により試合を中止とすることがある。中止された試合については再試合を原則とするが、別途定めるところにより、打ち切り試合にすることがある。この場合の大会本部とは女子委員長・副委員長・本リーグ運営委員長・副運営委員長をさすものとする。

(4) リーグ期間中における事故・けが等について、主催者側は一切の責任を負わない。万一の事故に備えて各チームでスポーツ安全保険等に加入しておくこと。

(5) 大会要項に規定されていない事項については大会本部において協議の上決定する。